

令和4年度町政懇談会記録

- 1 会議の名称 令和4年度町政懇談会（田野口区）
- 2 会議日時 令和4年11月14日（月）午後7時から午後8時15分まで
- 3 開催場所 田野口地域振興センター
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 田野口区 参加住民11名
 - (2) 執行機関 町長 藺田靖邦、副町長 秋元伸哉、教育長 山下 斉
(出席課長) 企画課長 大村、高齢者福祉課長 海老名、建設課長 風間
(書記・庶務) 農林課室長 中村、主幹 長嶋、健康福祉課主幹 中野
(その他職員) 総務課長 山田、税務住民課主幹 櫻井
- 5 内容
 - (1) 行政からの報告（町長・副町長・教育長）
 - ・これからの取組みと今後のまちづくりの方針
 - ・デジタル技術を活用した行政サービスの向上
 - ・町の教育方針について
 - (2) 町民の皆さんとの意見交換
- 6 発言の内容
 - (1) 事前質問に対する回答等
なし
 - (2) 意見交換
 - (住民) 台風15号による被害発生から2カ月経過した現状をどう捉えているか。
特に、足間沢の件は早期の対応を望む。
 - (町長) 現在、土砂の搬出という点で仮復旧工事を進めていますが、将来を見据えた新しいやり方で治水対策を考えなくてはならないと思っています。そういった観点からも設計内容が重要となります。県土木事務所と連携し、スピード感をもって対応していきます。

詳細は、担当課長から復旧工事の工程を説明してもらいます。

(課長) 島田土木事務所が対応してくれています。

本年度は谷止工を作るための踏査、次年度に計画策定と用地交渉を予定し、工事は来年度の計画となっています。

(住民) 台風により、町内であらゆる危険な地域が存在することがわかったが、それを前提として、町が安全な土地を提供するという考えはないか。

(町長) 危険区域の洗い出しという意味で、職員はもとより町民の皆さまにも改めてハザードマップの再確認をしていただくことが必要と考えています。

(住民) 町の将来構想は理解するが、移住定住に関して具体的な施策はあるのか。特に、子育て世代に対する支援の充実を望む。

(町長) 光ファイバーの整備によってIT企業が進出し、少しずつではあるが若い世代の定住に繋がっていると実感しています。当町は、高齢者福祉の充実により、県内でもお達者度が高いまちですが、若い世代が暮らしやすい環境を整備していきたいと思っています。

(住民) 足間沢工事の計画策定にあたり、水道施設への影響を十分に考慮し対応して欲しい。

(町長) 治水対策は、えん堤を造って対応していくことになると思いますが、現地調査や測量、設計をもって設置個所などの詳細が決まっていきます。

水道施設への配慮につきましては、承知しました。

(住民) 大井川鐵道の存続、人口減少、茶園の耕作放棄について、特に大井川鐵道と耕作放棄地への対応を図っていただきたい。

(町長) 大井川鐵道は重要な公共交通であり、観光資源としても重要な役割を担っています。地域全体の課題として認識しています。

また、耕作放棄地の問題は、農林課で委員会を設置し検討しています。

(住民) 大井川の水量を少しでも多くしてほしい。

(町長) 水利権の更新も数年後にあるため、環境改善を訴えていきたいと思いません。

以上